[コンペティション部門]PFFアワード2013

PFF Award 2013

来場ゲストなどの最新情報も随時アップします。乞うご期待！
作品や監督の詳細も公式ホームページで！ 第35回 PFF 検索

4.27[日] 11:00~

『LONG RIVER FRIEND』 10分／カラー

クセになる。オフビートなゆるい笑い

長髪のせいで好きな子に振られてしまった高校生のタカシ。彼女のために、家族がフィリピンのホストファミリーと交わした長髪同盟を破り、髪を切ることを決意。付き合う事に成功したタカシは、伝説のバンド「LRF」の存在を知る。

memo 監督の目指す緩いコメディを16㎜フィルムのテイストがさらに盛り立てる。

監督 荒井周士 Shuji Arai（21歳／茨城県）
日本大学 芸術学部 映画学科 監督コース在学中
〈繰り返し観ている作品〉『THE3名様』シリーズ（05年~09年／監督：福田雄一）

『それからの子供』 92分／カラー

震災後の仙台で描く新たな家族の形

蒸発した父が借金と共に残した一軒家に、1人で暮らすトモオ。ある日出会ったサチが家に転がり込んで来たことがきっかけで、同僚や近所の子供を巻き込み、他人との関わりを避けてきたトモオの周囲に家族のような団欒が形成されていく。

memo 印象的な音楽も監督が担当するなど、マルチな才能を持つ。

監督 加藤拓人 Takuto Kato（22歳／宮城県）
東北芸術工科大学 映像学科卒業。助監督
〈繰り返し観ている作品〉『青い春』（01年／監督：豊田利晃）

13:30~

『夜とケイゴカー』 45分／カラー

グランプリ
▶東京国際映画祭（日本）
▶インド日本映画祭（インド）

想像を超える破天荒なロードムービー

気弱なケイゴの家にやってきたイッチーは、強引にケイゴの母親の車を無断で拝借、女の子をデートに誘うが玉砕。やむなく男二人でドライブするが、不注意から車を盗まれ、さらに犯人のヤンキー達にケイゴが拉致されてしまう…

memo 「商業映画にできないことを」を合言葉に撮影された。

監督 市川悠輔 Yusuke Ichikawa（27歳／山形県）
東北芸術工科大学 情報デザイン学科 映像コース卒業。映像制作会社勤務
〈繰り返し観ている作品〉『バック・トゥ・ザ・フューチャー』（85年／監督：ロバート・ゼメキス）

『踊ってみせろ』 63分／カラー

男の孤独を映すセンス溢れる映像美

30歳を過ぎたミノルの元に、金を借りに来る父親。保険屋の姉は、保険の名義貸しを頼みにやって来る。そして家に帰ると、もうすぐ部屋を出て行く同棲中の彼女が引越しの話をしている。全てを拒絶する、孤独なミノルの運命は…

memo 濃密な時間を切り取るカメラは監督も担当している。

監督 伊藤裕満 Hiromitsu Ito（36歳／新潟県）
映画美学校フィクションコース高等科修了。映像制作会社勤務
〈繰り返し観ている作品〉『ヤンヤン 夏の想い出』（00年／監督：エドワード・ヤン）

16:00~

『疾走ラブレター』 6分／カラー

▶バンクーバー国際映画祭（カナダ）

これぞ青春！ 6分間の溢れる初期衝動

女の子とは無縁の男子校高校生たちが、放課後を告げるチャイムと同時に教室を飛び出していく。転がるように校門を走り抜け、田んぼでライバルと一戦交え、河川敷を躍動する。この胸のときめきはもう誰にも止められない！

memo 監督は、青山真治監督の新作で主役を演じるなど、役者としても活躍中。

監督 山本圭祐 Keisuke Yamamoto（21歳／埼玉県）
多摩美術大学 造形表現学部 映像演劇学科在学中
〈繰り返し観ている作品〉『狂い咲きサンダーロード』（80年／監督：石井聰亙（岳龍））

『山守クリップ工場の辺り』 99分／カラー

審査員特別賞
▶バンクーバー国際映画祭（カナダ） グランプリ受賞
▶ロッテルダム国際映画祭（オランダ） グランプリ受賞
▶釜山国際映画祭（韓国） ほか

海外で2冠！ 世界も認めた、独創的なファンタジー

クリップの生産工場に就職した、心優しい男・小暮。劣悪な環境での労働が続いていたある日、蝶を助けた小暮の部屋に、謎の方言を話す見知らぬ女性が入り込んでいた。さらに彼女の父親も加わり、奇妙な共同生活が始まる。

memo オリジナリティあふれる世界観が、海外映画祭でも人気沸騰中。

監督 池田 暁 Akira Ikeda（37歳／東京都）
文教大学 文学部 英米語英米文学部卒業。フリーディレクター
〈繰り返し観ている作品〉『明日に向かって撃て！』（69年／監督：ジョージ・ロイ・ヒル）

あなたが決める PFF福岡賞!

ご来場いただいたお客様の投票により、
「福岡グランプリ」を決定します。

福岡では、果たしてどの作品が
多くの支持を得るのか？
PFF福岡賞に是非投票してください！

Ticket チケット情報

前売券はチケットぴあにて、2月22日(土)10時より発売！
[Pコード：465-377]

当日券も必ず販売いたします。
全席自由席です。

〈全席自由席〉	1回券	3回券
前売券	700円	1,800円
当日券	900円	2,400円
当日学生券	600円	——

pia.jp/t チケットぴあ 0570-02-9999

[前売券の購入方法]

会場での前売券販売はありません。

○チケットぴあ、サークルK・サンクス、セブン-イレブンの**店舗で直接購入**
※初日の2日前まで可能です。発券手数料として、105円/枚がかかります。

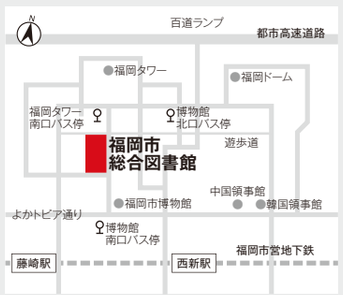
○**インターネットにて購入** http://pia.jp/t/pff/
※初日の2日前まで可能です。発券手数料およびシステム使用料として、315円/枚がかかります。

○**電話予約にて購入**
チケットぴあ音声認識予約：0570-02-9999
※初日の5日前まで可能です。発券手数料およびシステム使用料として、315円/枚がかかります。

[当日券の購入に際して]

○当日券は各プログラムの1時間前から販売します。
○当日学生券でのご入場には、学生証の提示が必要です。

会場 **福岡市総合図書館／1F・映像ホール・シネラ**
福岡市早良区百道浜3-7-1-1F
TEL：092-852-0600



交通案内◎
地下鉄「西新駅」または「藤崎駅」から徒歩15分／西鉄バス「博物館南口」または「福岡タワー南口」から徒歩3分

[お問い合わせ]（平日11:00~18:00）
PFF事務局 03-5774-5296

35th PFF / PIA FILM FESTIVAL in FUKUOKA

主催：PFFパートナーズ ぴあ ホリプロ NIKKATSU ／ UNIJAPAN 公益財団法人ユニジャパン ／ 福岡市総合図書館／映像ホール・シネラ実行委員会
特別助成：CSCA 一般社団法人 映画演劇文化協会　特別協賛：SEGA SAMMY GROUP
後援：一般社団法人 日本映画製作者連盟 ／ NPO法人 映像産業振興機構（VIPO）／ 協同組合 日本映画監督協会　協力：早稲田大学

http://pff.jp/35th/

CoFesta

来場ゲストなどの最新情報や作品・監督の詳細は公式ホームページで！ 第35回 PFF 検索 PiaFilmFestival @pff_award

[コンペティション部門]PFFアワード2013

PFF Award 2013

青春映画、ドキュメンタリーから、コメディ、ゾンビ映画まで、見たい映画が何でも揃う!
日本中を驚かせる映画監督が、ここから飛び出す!

PFFぴあフィルムフェスティバルとは、「映画の新しい才能の発見と育成」「映画の新しい環境づくり」をテーマに、1977年にスタートした映画祭です。日本が世界に誇る「自主映画」の発見・紹介を中心に活動し、これまで、園子温監督、内田けんじ監督、石井裕也監督など、多くの映画監督たちを輩出してきました。

コンペティション部門「PFFアワード」では、全国から応募された全511作品から、入選作品16本を決定。2013年9月の東京開催で、最終審査員5名らにより各賞が発表されました。その後、海外の映画祭で受賞の続く話題作も続々登場しています。

福岡上映は、この一度限りです!是非一度ご来場ください。

「PFFアワード2013」最終審査員

本年はこの5名が最終審査を行いました。

安藤親広 Chikahiro Ando (株式会社ロボット 執行役員 コンテンツ事業本部 映画部部長 チーフプロデューサー)

橋本 一 → Hajime Hashimoto (映画監督)

中井美穂 Miho Nakai (アナウンサー)

中村義洋 Yoshihiro Nakamura (映画監督)

森山未來 Mirai Moriyama (俳優)

安藤親広

橋本 一

中井美穂

中村義洋

森山未來

[特別招待作品]

Invited Works

長崎出身、橋口亮輔監督の最新作『ゼンタイ』を、九州初上映!

上映後特別上映。橋口監督トーク映像

PFF東京会場での橋口監督によるトークの模様を福岡会場限定で特別上映!全身タイツの奥深さから、映画づくりの神髄に至るまで、熱く語っていただきました。必見のトーク映像です。

※監督の年齢は応募時のもの/地名は出身地です。
※各プログラムの開場は開演時間の15分前を予定。
※やむを得ない事情により、プログラムおよび来場ゲストが変更になる場合もございます。

4.25[金] 13:15~

『いたいのいたいのとんでいけ』30分/カラー

パパとママの仲も絆創膏で治せればいいのに

まだ補助輪なしでは自転車に乗れない、小学1年生の加奈は、いつも喧嘩ばかりしている両親の姿に心を痛めている。ある日、目を覚ますと、自転車の練習をする約束をしたはずのパパが姿を消していることに気付く。

memo 加奈のお母さんへの一言に号泣する人続出。

監督 朴 美和 Mifa Park (27歳/東京都)
日本大学芸術学部 映画学科監督コース卒業。東京国立近代美術館 フィルムセンター非常勤職員
〈繰り返し観ている作品〉『赤い風船』(56年/監督:アルベール・ラモリス)

『きみの信じる神様なんて本当にいるの?』87分/カラー

準グランプリ

団地で暮らす少年少女の驚愕の世界

ある団地に住むインド人の少年。不法滞在者である彼が、団地の外に出ることはない。日本人の少女は、毎日酔いつぶれた母の介抱をしている。毎日を一人で過ごしてきた2人は、ある日お互いを見つけ出し、ささやかな交信を始める。

memo 団地が好きな監督は、日本中を調べ、大阪で理想のロケ地を見つけた。

監督 猪狩裕子 Yuko Igari (28歳/東京都)
ENBUゼミナール 監督コース卒業。スチールカメラレンタル店勤務
〈繰り返し観ている作品〉『永遠と一日』(98年/監督:テオ・アンゲロプロス)

16:00~

『His Eye Is On The Sparrow』26分/カラー

愛に満ちた異色のアート映画

「申し訳ありません」とだけ書かれ、土手に放置されている謎の立て看板。撤去されそうになっても、落書きされても、破られても、作者は全てを受け入れていく。表現の喜びと向き合う、キラキラした4つのエピソード集。

memo 主役も務める監督は、アートに対する考えを深めるべく、現在は服飾の学校に通っている。

監督 田島由深 Yoshimi Tajima (22歳/東京都)
東京芸術大学 音楽学部 音楽環境創造科卒業。文化服装学院服装科在学中
〈繰り返し観ている作品〉『モダン・タイムス』(38年/監督:チャールズ・チャップリン)

『女島』79分/カラー

審査員特別賞/ジェムストーン(日活)賞/神戸賞

▶ロッテルダム国際映画祭(オランダ)

本能に従え!無国籍な青春暗黒活劇

生きる目的もなく、肉を解体する青年・女島は、ある日風俗嬢を買いに行った先で、中国人組織のリーダーのリーに出会う。自分と対照的に、貪欲に幸福を求めるリーの姿に、女島の中に眠る何かが爆発する!

memo 最終審査員の森山未來氏絶賛!エスニックムード満点の圧倒的なロケ地も魅力。

監督 泉谷智規 Tomonori Izutani (30歳/奈良県)
ビジュアルアーツ専門学校・大阪 放送映画学科 フィルムコース卒業。広告制作会社勤務(フリーディレクター)
〈繰り返し観ている作品〉『青春デンデケデケデケ』(92年/監督:大林宣彦)

4.25[金] 18:30~

©(株)テンカラット アプレワークショップ/映画「ゼンタイ」を応援する会

『ゼンタイ』2013年/62分/カラー

監督・脚本:橋口亮輔
出演:篠原 篤、山下晃司、松下貞治、伊藤公一、都武田 青、成嶋瞳子

笑って泣ける、愛おしきオムニバスコメディ

日常を不器用に生きる人たちが、自分を隠すことで少しだけ自由になれる。ちょっぴりイタいが愛おしい、全身タイツ愛好家達のオフ会と日常を、リアルな会話と繊細な演出で描いた珠玉の一本。

監督 橋口亮輔 Ryosuke Hashiguchi
1962年、長崎県出身。デビュー作『二十才の微熱』からその脚本と演出力が高く評価され、『ハッシュ!』、『ぐるりのこと。』などで、数多くの賞に輝く。

来場ゲストなどの最新情報も随時アップします。乞うご期待!
作品や監督の詳細も公式ホームページで! 第35回 PFF 検索

4.26[土] 12:15~

『トータスと私』52分/カラー

楽しかった子供時代に戻れる52分

どこかクラスで浮いている小学校のあゆみ。ふとしたきっかけで、同じクラスの男の子二人と、近所で行方不明のリクガメを探すことに。道中、風変りな大人たちと出会いながら、色鮮やかな探索はゆったりと続いていく。

memo 子供たちの自然な演技には、監督と一緒に悩んだ豊かな時間が見える。

監督 川喜田茉莉 Mari Kawakita (22歳/神奈川県)
東京芸術大学大学院 映像研究科 映画専攻 監督領域在学中
〈繰り返し観ている作品〉『ゴーストワールド』(01年/監督:テリー・ツワイゴフ)

『震動』73分/カラー

映画ファン(ぴあ映画生活)賞/名古屋賞

▶レインダンス映画祭(イギリス)
▶インド日本映画祭(インド)

圧倒的な完成度の青春エンタメ映画

施設で育った高校生の春樹と直は、幼い頃から兄妹のように育ってきた。ある日、春樹はクラスメイトからバンドに誘われ、ギターの世界にのめりこんでいく。一方、耳の聞こえない直は疎外感を感じ、二人の間に亀裂が生まれてしまう。

memo 役者が猛特訓した手話と楽器演奏シーンは必見!

監督 平野朝美 Asami Hirano (28歳/東京都)
ENBUゼミナール 監督コース卒業。会社員
〈繰り返し観ている作品〉『ヘドウィグ・アンド・アングリーインチ』(01年/監督:ジョン・キャメロン・ミッチェル)

15:00~

『カワツヒロアキ君、はい!』45分/カラー

京都賞

ダメ親父を捉えた感涙ドキュメンタリー

両親の離婚話を聞いた河津宏亮は、熊本の実家に帰省するが、多額の借金を抱えた父は、既に家を出ていた。タクシー運転手を始めたという父に会いに行くが、寮での生活ぶりはとても質素で寂しいものだった。

memo あまりに劇的な展開に、撮影していた監督自身も驚いた。

監督来場予定

監督 河津宏亮 Hiroaki Kawatsu (22歳/熊本県)
京都造形芸術大学 映画学科 映画監督コース卒業。映像制作会社勤務
〈繰り返し観ている作品〉『未知との遭遇』(77年/監督:スティーヴン・スピルバーグ)

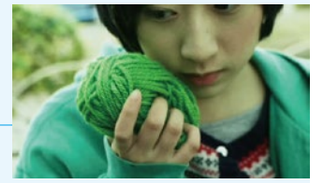
『愛のはずみ』78分/カラー

エンタテインメント(ホリプロ)賞

ダルデンヌ作品を思わせる緊迫ドラマ

少年院から出所した少女が久しぶりに帰宅すると、父はうろたえ、母は家を出ていた。少女は、或る男の居所を突き止め、観察を始める。やがて2人の間に、穏やかな交流が生まれるが、そこには残酷な真実が秘められていた。

memo 監督は、映画以外にも劇団での演出・役者をするなど、さまざま表現を続けている。



監督 佐藤悠玄 Yugen Sato (22歳/東京都)
多摩美術大学 造形表現学部 映像演劇学科卒業。フリーディレクター
〈繰り返し観ている作品〉『ファーゴ』(96年/監督:ジョエル・コーエン)

18:00~

『Living with the Dead』49分/カラー

ゾンビと共に暮らす、なにげない日常

ハイチ発の新型ウイルスにより、世界中にゾンビが出現。無気力にバイト暮らしを続ける庄司の前に、ある日片腕を失ったゾンビが現れる。庄司は、家に招き入れ、生肉を与え、ゾンビと共に生活を始める。

memo 監督は、スタジオジブリを追ったドキュメンタリー『夢と狂気の王国』の制作にも参加している。

監督 富樫 渉 Wataru Togashi (28歳/埼玉県)
日本映画学校 ジャーナルゼミ卒業。映像制作会社勤務
〈繰り返し観ている作品〉『ゴーストバスターズ2』(89年/監督:アイヴァン・ライトマン)

『夜の法則』64分/カラー

審査員特別賞/日本映画ペンクラブ賞

▶インド日本映画祭(インド)

手に汗握る、暗闇でのアクション

大学の警備員として働く青年。夜に構内の見回りをする彼は、ひとりの女子学生を盗み見るようになる。ある日、構内で通り魔が人を襲う瞬間を目撃、犯人を尾行したことから、夜の街を舞台に緊迫した攻防が始まる。

memo 大学院の入試において、この作品が講師の黒沢清監督に絶賛され突破!

監督 山下洋助 Yosuke Yamashita (22歳/神奈川県)
東京芸術大学大学院 映像研究科 映画専攻 監督領域在学中
〈繰り返し観ている作品〉『アカルイミライ』(02年/監督:黒沢 清)